

平成29年度第2回 奈良市環境基本計画推進会議の意見の概要

開催日時	平成30年2月7日（水）午後2時から3時まで
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第21会議室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」平成30年度（平成29年度実績）評価コメントの取りまとめ方法について ・今後の予定について
参加者	出席者 6人 ・ 事務局 4人
開催形態	公開（傍聴人 0人）
担当課	環境部 環境政策課

意見等の内容の取り纏め

《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》

「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」平成30年度（平成29年度実績）評価コメントの取りまとめ方法について事務局による説明のあと、参加者に意見を求めた。

今年度の取りまとめ結果について、前回の奈良市環境審議会で報告、承認をいただき担当各課へ評価コメント結果をフィードバックした。

奈良市環境審議会で報告した際に、「評価コメントとしては、箇条書きになっている方が見やすいのではないか。」「昨年度の総合評価と、今年度総合評価が同じ指標とそうでない指標で評価が変わると思う。昨年度の実績がどうであったかがわかるようになると良い。」といった主旨の意見があった。

そこで、次年度に向け、平成30年度（平成29年度実績）評価コメントの取りまとめ方法について検討したいと考えている。今年度までの取りまとめ方法については、会議参加者の皆様から個別に意見をいただいたのち、事務局にて取りまとめ（案）を作成し、奈良市環境基本計画推進会議にて取りまとめている。

前回の奈良市環境基本計画推進会議では、皆様の意見が会議の場で反映しやすくなるよう箇条書きの取りまとめ（案）を作成し、会議での意見をふまえ、後日文章化した取りまとめ（案）を最終報告（案）として確認いただいたが、箇条書きで取りまとめた評価コメントを担当各課へフィードバックし、冊子「奈良市の環境」にて公表したいと考えている。

また、奈良市環境基本計画推進会議での議論の際や奈良市環境審議会への報告の際に、取りまとめ（案）がどのような意見を中心に取りまとめているかがわかるよう、集約案の下段に主なキーワードを記載する欄を追加している。

次に、奈良市環境審議会へ取りまとめ結果を報告する際に、評価コメントの横に前年実績及び今年度との比較を上昇、横ばい、下降の矢印とイラストにて、標記した上で審議会に報告をしたいと考えている。

○質疑・意見の要旨

- ・どうしても数字に注目しがちである。見て欲しいところ、評価できるところを明確にできる方法があれば数字に引っ張られることはないのではないか。
 - ・前年度比をパーセントで標記はできないのか。評価コメントシートの形式や用途を考えるとそのような標記の方がふさわしいように感じる。
- 過去の実績を年度ごとに示しているため、前年度比較は数値で把握することもできるが、総合評価に注目がいくため、例えば今年度は総合評価がDであった場合に前年度はどうであったのかという点が質疑になりやすいため、このような標記を最初から入れてはどうかと考えた。
- ・奈良市環境審議会では数値に注目されがちだが、奈良市環境基本計画推進会議での議論は、数値に表すことのできない点についても議論しているということを示そうと考えたと矢印等の図示が良いのではないかと事務局の考えであると思う。
 - ・総合評価だけで上昇、下降を示すのか。総合評価がDからCにあがると上昇マークになるのか。
- 現時点ではそのように考えている。
- ・把握している範囲になるが他の市町村と比較しても、「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」で取り組んでいるPDCAサイクルによる進行管理は良くできていると思う。そのため、参加している者の負担もかなり大きい。他の計画ではここまではやっていない。このような方法を取っているが、評価コメントをフィードバックした担当課はどのように捉えているのか。実際の現場で働く方々が一番参考となる指標に関する施策の内容もわかっている。担当課の意見も尊重したい。フィードバックした評価コメントは役に立っているのか。参考になっていないのであれば、もう少し簡潔な方法をとっても良いのではないかとも思う。
 - ・その点もふまえて抜本的に作成方法を考え直してはどうかとも思うが、奈良市環境審議会では限られた時間でこれだけというポイントを伝えている。
 - ・各担当課がそれぞれ指標を設けて取り組んでいるが、「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」とどう関係があるのかという指標もある。
 - ・「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」とどのように関係性があるのか担当課に示してもらっても良いのではないか。
 - ・自分達では解決できない問題を抱えている指標もあり、外的要因の影響が大きいものも同様に評価するところも難しい。
 - ・担当課が目標値を掲げて目標を達成できているという点を評価すれば良いのではないか。
 - ・奈良市環境審議会では、施策担当課による自己評価の内容までは示していない。
 - ・総括コメントで指標をピックアップしてコメントを付してはどうか。専門外で詳細を把握できていない指標に対するコメントは、担当課の意見を尊重することとしてはどうか。
 - ・担当課の自己評価シートは、他の計画や県や他市の取組では見たことがない。当推進会議やこの仕組みは評価できる。
 - ・この取組で担当課を巻き込んでいるという実感はあるのか。

→意識をしてもらえている実感はある。

→予算の査定では、行政評価を行っているが、多くが総合計画に基づくものである。この評価コメント結果も予算要求等に活用してもらえると良いと考えている。

・第4次総合計画後期基本計画の環境分野と「奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し」は概ねリンクしていると思うがどうか。

→大部分はリンクしているが、中には第4次総合計画後期基本計画の指標になっていない部分もある。

・他の計画でもここまで取り組んでいるものがあるのか。

→計画の見直しの際には取り組んでいるが、これだけの取組をしている計画はほとんどない。毎年事業評価に取り組んでいる計画もあるが各課へコメントを返しているところまではできていない。

→予算査定の際の財政課への説明や市長とのヒアリングの際にもこのような評価コメントがあると活用してもらえると良いと考えている。

・担当課の自己評価シートを奈良市環境審議会でも見てもらっても良いのではないか。

→奈良市環境審議会での資料として担当課の自己評価シートを出してはどうかと考えている。膨大な量になるが、その方が奈良市環境基本計画推進会議の議論の経過がわかりやすいのではないかと思う。

・奈良市環境審議会委員の方々の関心のある部分だけでも見てもらえると良いのではないか。議論の経過がより伝わるきっかけになれば良い。

・前年度からの進捗に関する標記は、どこかの事例を参考にしたのか。

→金沢市が市民向けに公表する際に同じようなマークでの標記をしている。あくまで市民向けなので、若干用途は違うとは思われる。

・全体的に気になる部分であるが西暦標記と和暦標記があるが西暦に統一してはどうか。

→和暦ももうすぐ変わることもあるため、考えていかななくてはならないと思う。西暦と和暦標記については、文書担当課で全庁的に統一し活用している。

⇒前年度評価の標記については、担当課の自己評価が伝わるようなアイコンを事務局で再検討することとした。次年度の評価コメント方法としては、総括コメントを必須コメントとし指標全体を網羅するように記載することとし、個別の指標についてのコメントは任意コメントとすることとした。

次に、今後の予定について、事務局より説明があった。

今年度の会議については、今回で最後と考えている。アイコンの再検討結果については、本日の意見の概要（案）とともに事務局（案）を提示し、本日欠席の参加者にも意見を伺うこととする。